

看護学生ピアサポーターによる高校生に向けたピアエデュケーションの効果

新潟医療福祉大学 看護学科 山口典子
下山博子
塚本康子
中山和美
三澤寿美

【背景】

全国性行動調査の結果から、初交年齢の早期化、望まない妊娠による10代における人工妊娠中絶の増加および出産の増加、性感染症罹患率の上昇、多数の相手との性交渉をもつ傾向等の、若者の性行動のハイリスク化が問題となっている。これらは、その後不妊症やHPV感染による子宮頸がんへの影響も危惧され、今日の学校保健や思春期保健における喫緊の課題となっている。本県においても、高校のトイレの中で、女子高生が出産し大きな波紋を呼んだ。

若者の性白書において、この時期に性意識の形成にもっとも影響を与えているのは“友人”であることが明らかとなっている。“友人”いわゆる同年代の仲間（ピア）による健康教育「ピアエデュケーション（以下PE）」は、1970年代、イギリスの若者たちの間に広まったグレイプライン運動の一端として始まった。その効果と重要性は、その後1986年のWHOによるオタワ憲章や、1994年国際人口・開発会議におけるリプロダクティブヘルス・ライツでもうたわれ、思春期初期の自尊心が損なわれる傾向には同年代の仲間同士の効果的なカウンセリングプログラムによって回復する、と明言されている。これを受け、日本においても2000年に厚労省による「健やか親子21」が打ち出され、思春期にある若者が自己を大切に、豊かな人生（QOL）を創造できる力を育てること、性＝生であるという考え方に立ち、性に関する知識の提供だけでなく自己決定能力を高め、自己効力感を高めていく教育を兼ねることで自分自身で問題解決していくことができるようになるピアサポートの活用を明示している。

本研究は、PEを行う前・後に高校生へ向けたアンケート調査をおこない、PEの効果进行分析することを目的とした。

【方法】

本学看護学生をピアサポーターとして養成後、高校生にPEを行い、PEを行う前・後に高校生に向けてアンケート調査を行った。性に対する意識の変化および感想からPEの効果进行分析した。

【結果】

アンケートの結果を分析したところ、性交のイメージとして、「恥ずかしいもの」($p < 0.05$)、「すばらしいもの」($p < 0.01$)、「いやらしいもの」($p < 0.01$)というカテゴリーについて、PE前後にて有意差があった。

記述式の感想からは、「とてもわかりやすかった」「性を身

近に感じた」「自分が大切にされていることを再確認できてとても良かった」「自分を大切にしたい」「もっと詳しく聞ける機会が欲しい」「命の大切さを学んだ」「きちんと避妊しようと思った」といった内容が抽出された。

【考察】

PEを行うことによって、性交に対するイメージが変化し、ネガティブなイメージからポジティブなイメージへと変化し、また単なる行為ではなく、相手を大切にすることであるということに導くことが出来たと考えられる。また、感想からも性＝生と考えることができ、PEの効果が示された。

【文献】

- 1) 高村寿子他(2004)：性に関する思春期保健教育のためのマニュアルの開発と教材作成に関する研究. 平成16年度厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 子ども家庭総合研究.
- 2) 高村寿子他(2003)：ピアカウンセリング・ピアエデュケーションのマニュアル作成及び効果的普及に関する研究. 平成15年度厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 子ども家庭総合研究.
- 3) 高村寿子他(2002)：ピアカウンセリング・ピアエデュケーションのマニュアル作成及び効果的普及に関する研究, (総括研究報告書). 平成14年度厚生科学研究費補助金 疾病・障害対策研究分野 子ども家庭総合研究.
- 4) 東京都幼稚園・小・中・高・心障性教育研究会(2005)：2005年調査 児童・生徒の性 東京都小学校・中学校・高等学校の性意識・性行動に関する調査報告. 学校図書.
- 5) 文部科学省(2006)：学校における性教育の考え方、進め方. ぎょうせい.
- 6) 第6回青少年の性行動全国調査報告(2007)：「若者の性」白書, 小学館.
- 7) 高村寿子(2005)：ピアカウンセリング・マニュアルーピアカウンセラー養成者・コーディネーター(調整役)版, 小学館.
- 8) 鈴木せい子(2008)：助産師が伝えるいのちの教育ーすべての子どもに「生きる力」を-, メディカ出版.
- 9) 池田優子他(2007)：群馬県におけるピアカウンセリング活動の取り組み 活動効果と継続性に関する考察, 高崎健康福祉大学紀要, 6, 169-183.
- 10) 牧野孝俊他(2007)：高校生に対して看護学生が行ったピアエデュケーションの効果 3つのエデュケーションの実践から, 高崎健康福祉大学紀要, 6, 67-80.
- 11) 濱田雅子他(2006)：看護大学生ピアエデュケーターによる小学生への性教育活動の試み 年齢差のある対象へのピアアプローチとその評価, 日本赤十字九州国際看護大学, 5, 10-16.
- 12) 安武 繁 他(2006)：学校保健と地域保健が連携した「生と性の健康教育」推進システムの構築に関する研究, 人間と科学：広島県立保健福祉大学誌, 6(1), 83-90.